

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	開心術後 1 病日の離床状況と歩行獲得の転帰について
研究責任者	聖隷浜松病院 リハビリテーション部 春藤 健支
研究実施体制	【研究責任者】聖隷浜松病院 リハビリテーション部 春藤 健支 【研究分担者】聖隷浜松病院 リハビリテーション部 奥田 勇希 聖隷浜松病院 リハビリテーション部 佐野 弘毅
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2020 年 10 月
対象者	2018年6月～2019年6月にかけて当院で胸骨正中切開による開心術を受け、理学療法処方の方であった患者 【除外基準】①大動脈置換術などの複雑な大血管手術を受けた患者 ②60歳未満の患者 ③緊急手術 ④歩行補助具に関係なく術前に独歩自立していなかった患者 【予定症例数】100例 【症例数の設定根拠】当院で対象患者となる見込み症例数を設定した
研究の意義・目的	本研究の目的は、開心術後における術後1病日の離床状況を①ベッド上 ②端座位 ③立位までの群に分け特徴を調査し、当院における病態に応じた離床の現状を明らかにすること。 3群における歩行獲得までのリハビリテーション進行状況(歩行再獲得日数)の差が生じるかを調査。結果から現状のリハビリテーションプロトコルの妥当性を検討すること。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 1.患者特性 ・年齢、性別、BMI・診断名・既往歴・心エコー：術前心機能(LVEF:%)・呼吸機能(肺活量、1秒率) ・術前生化学データ：アルブミン、腎機能(eGFR)、ヘモグロビン 2.手術記録 ・術式(冠動脈バイパス術、弁形成 or 弁置換、両者)・手術時間・出血量 3.術後経過 ・人工呼吸器装着日数・ICU 入室日数・術後 1 病日採血：乳酸値・CRP・白血球数 ・酸素療法日数 4.リハビリ進行度(stage1:床上安静、stage2:角度指定ギャッジアップ、stage3:最大ギャッジアップ、stage4:端座位、stage5:立位、stage6:移乗、stage7:10m 歩行) ・術後 1～4 病日での各 stage 5.歩行自立度および歩行距離 ・トイレ歩行自立日数・病棟内歩行自立日数・ICU 病棟での離床時間、回数・4 病日歩行距離 ・5 病日歩行距離

個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 リハビリテーション部 奥田 勇希 聖隷浜松病院 リハビリテーション部 佐野 弘毅 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日